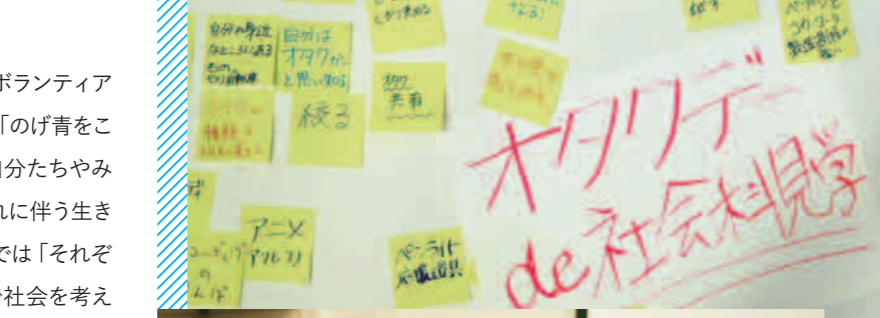
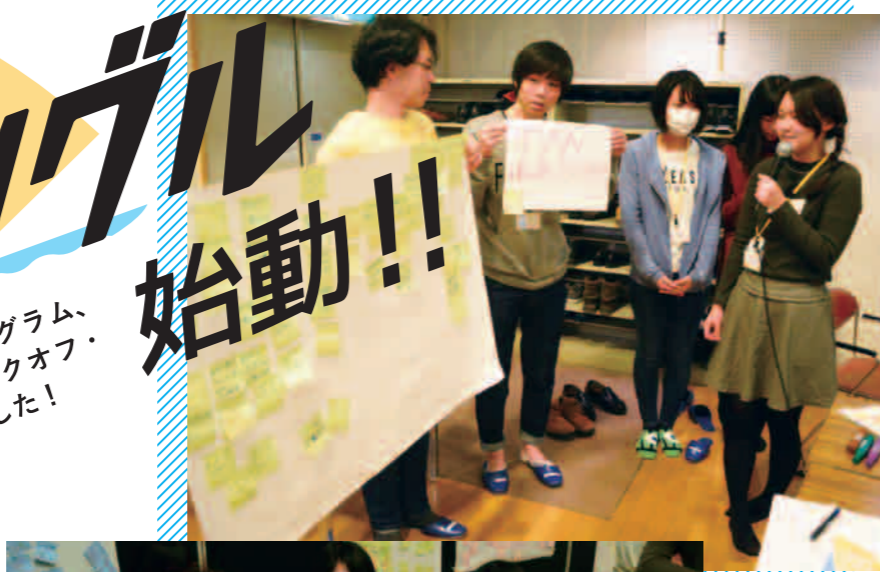


ノゲセイ トライアングル 始動!!

4月からのげ青で新しく始まるプログラム、「ノゲセイトライアングル」のキックオフセッションを2月20日に開催しました!

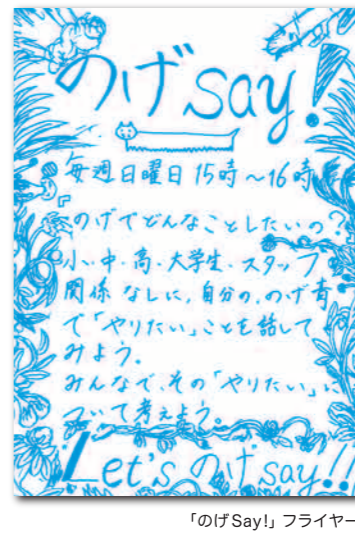


ノゲセイトライアングルは中学生以上の若者を対象に、のげ青を舞台に、あるいはのげ青を拠点に自分たちの「やってみよう!」を見つけ、実現していくプログラムです。企画、仲間集め、実践、発表といったプロセスをのげ青スタッフであるユースワーカーやのげ青に集まるみんなでサポートしますので、失敗を気にせずやってみようことに挑戦できます。このプログラムは企画を立ててから、のげ青メンバーの認定を受けてスタートします。その前段階として、みんなのアイデアを共有し、実際にいくつかのプログラムの企画を立ててみるイベントとして今回のキックオフセッションを開催いたしました。

今回キックオフセッション開催にあたり、冒頭ののげ青の大学生ボランティア(以下ガクボラ)の面々から1年間の活動を通して考えたこと、「のげ青をこういう居場所にしていきたい!」という思いを発表しました。自分たちやみんなの置かれている社会状況は一体どうなっているのか、それに伴う生きづらさとはなんだったのかを自分たちの経験から語り、のげ青では「それぞれが自然体でいられることを前提に、学びをもとに自分たちで社会を考えられるきっかけのある場所にしていきたい」と語りました。そしてこの発表を受けて、ガクボラが発表したような居場所にしていきたいために、みんなで何をやっていきたいのかということセッションで考えていきました。第1部では「のげ青でやったら面白そうなこと・楽しそうなこと」をテーマに、とにかくたくさんアイデアを出してみようということを行いました。第2部では「あなたが心の奥で、のげ青の仲間力を借りて、実現したいと思っている企画・取り組みは何ですか?」という問いのもと、実際に4つ企画発表され、グループに分かれて計画を立てるところまで行いました。今回考えた企画は4月24日(日)に開催予定の「トライアングルセッション」にて、のげ青メンバーからの認定を受けたら正式にスタートしていくことになります!今後の活動をお楽しみに!

のげ青 日常 フリースペース お引っ越し。

11月に開催されたのげ青フェスティバル以降、本館改修工事のためフリースペースを別館に移動し運営していました。今まで使っていたフリースペースとは違い、始めは普段来館している利用者も困惑する様子もあがりました。しかし皆と一緒に限られた場所の中でイスや机の配置を考えたり、新たに来館する子、今まで来てはいたけど話した事がない人同士の交流も生まれました。それ以外にも勉強をしに来たり、皆でカードで遊んだり、ただおしゃべりに来る子がいたりとそれぞれの時間を過ごしていました。また、とある利用者の「皆のやってみよう!を知りたい、そしてそれを実現してみたい」という声から「のげ Say!」という企画が誕生しました。現在毎週日曜日開催しており、普段皆が生活している中で「〇〇がやってみよう!。だけど機会が無い」という話から、どうすればそれが実現出来るんだろう?実現する為には何が必要なんだろう?といった議論をしています。もし皆もやりたい事があるのなら、声に出して一緒に考えてみない?



野毛青掲示板

- ノゲセイトライアングル参加募集について
今年度、野毛青少年交流センターでは若者自身が企画して活動する「ノゲセイトライアングル」を実施しています。参加したい若者はのげ青ユースワーカーに気軽に声をかけてみてください。
- トライアングルセッション開催について
ノゲセイトライアングルでロング/ソーシャルコースに参加したい若者がプロジェクトの提案をし合うトライアングルセッションが開催されます。興味のある若者は奮ってご参加ください!
- 日時
2016年4月24日(日)16:00-
- 場所
野毛青少年交流センター 本館1階ホール
- 対象
中学生以上の若者、ロングコース/ソーシャルコースのプロジェクト提案者
- プログラム内容
ロング/ソーシャルコースプロジェクト提案のプレゼンテーション、各プロジェクトを練るグループディスカッション、プロジェクトの認定など

のげ青 ガーデンプロジェクトはじまり

のげ青の中庭を活用した「のげ青ガーデンプロジェクト(仮)」がスタートします。みんなの居場所を中庭にひろげていくとともに、バーマカルチャー*の発想を取り入れながら、みんなで中庭に学びの「種」を蒔いていくプロジェクトです。今後のプロジェクトの経過は随時みなさんに発信していきます。お楽しみに。

*「バーマカルチャー(恒久的な)」と「アグリカルチャー(農業)」を合わせた造語。循環型の農業を通じて、持続可能なライフスタイルを実現していくデザイン体系。



のげ青の人々。

のげ青 ユースワーカー 羽鳥 圭さん

のげ青で、カフェデザインプロジェクトを中心としたプログラムの企画や会議・ワークショップの運営などを担当している羽鳥です。今年から始まるノゲセイトライアングルでは、提案された各プロジェクトチームのサポートや、講座の企画・運営を担当する予定です。みんなと一緒に悩みながら、のげ青を舞台に様々な取り組みを形にして行くのを楽しみにしています。これからもよろしくお願いします!

みんなが
わくわくする取り組みを、ぜひ
たくさん生みだして行きましょう!

世田谷区立
野毛青少年交流センター
〒158-0092 東京都 世田谷区 野毛 2-15-19
TEL 03-3702-4587 / FAX 03-6809-8739
mail nogesei@npobunka.net
twitter @nogesei_youth
https://www.facebook.com/nogesei0510

1 TOPICS



ココイル COCOIL 出張販売! in 福島

第11回全国若者・ひきこもり協同実践交流会実行委員会から、「交流会の会場でココイルを出しませんか?」と声がかかったのは1月中旬。全国の若者支援活動に関わっているみなさんに、ココイルの活動を知ってもらいたいチャンスだということで、2月27~28日に福島県福島市で開催された集会で出張ココイルを行いました。

全国から500人以上の若者支援者が集まった2日間にわたる集会。「居場所のありかた」や「就労支援の問題」、「仕事づくり」若者が参加する地域づくりなど、現在の若者支援における課題について話し合っ

な分科会で熱い議論が繰り広げられたようです。会場の一角に設けられた「マルシェ会場」には若者たちが中心となって運営するブースがたくさん並びました。その中で交流会参加者にコーヒーブレイクタイムを提供したのが、我がカフェ・ココイル。これまでののげ青で開いた時と同じように、一杯一杯、会場で丁寧にドリップしました。香ばしい香りに誘われて、ココイルブースには多くのお客さんが並んでくれました。お客さんにドリップを待っていた期間には、ココイルのメンバーが報告集を見せながらこれまでの活動を説明。「いろいろな人に自分たちの活動を直接説明することができてよかったです。報告書を手にとってもえたのもうれし!」と、通常のココイル運営以上にたくさんのお客さんに声をかけながら感想を語ってくれました。

集会に先立って開催された震災・原発被災地をめぐるエクスカーションツアーにもココイルメンバーとスタッフは参加しまし

た。榎葉町から国道6号線を北上し、南相馬までをたどるこのツアー。あの3.11から5年。事故のあった福島第一原発周辺はまだまだ手つかずのまま。5年前から時間の止まっている街。除染作業員のみなさん等、人通りは増えてきていますが人々の生活や、その基盤となる住民のつながり、くらし、コミュニティがふたたび取り戻せるのかどうかはまだ展望が見えないままのように思いました。福島で子ども・若者支援を行っているNPOの方にもお話を伺いました。この5年間、避難所、仮設住宅など居場所を転々とする、あるいは避難と仕事の狭間で家族がバラバラになっている状況の中、先自分がどう生き、どこで暮らしていくのかまだわからないという不安感を持って日々を暮らしている子ども・若者がたくさんいると聞きました。日本社会全体の課題として、これからも福島と関わり続けなければならない、現地の人・若者と繋がり続けたい、そんなことを感じる貴重な機会となりました。



ノゲライブ開催!

1月31日、のげ青を利用する中高生若者たちによる「ノゲライブ!」を開催しました。13団体40名程度のメンバーが参加し、歌声や応援の声のなか繰り広げられたのは、バンド、ブレイクダンス、演劇、アカペラ、ヒューマンビートボックス、ジャグリングなど多彩なパフォーマンス。同じステージに立ったことで、出演者たちのジャンルを超えたつながりが生まれました。

中でも大きな笑いを会場に巻き起こしたのは「のげ青演劇団」。演劇の経験がある3人のメンバーののげ青で出会い、ノゲライブ出演のために結成。のげ青で稽古を重ね、当日のステージに立ちました。演じたのは、3人の兄弟が自宅のこたつポジションを争うコメディタッチの「こたつフォーズ」。体の動きも大きく使い、よりおもしろく内容を伝えようと全力で表現している姿が印象的でした。

後日、今回の活動をふりかえてみると、メ

のげ青での宿泊、はじまります!

3月15日(火)にリニューアルオープンしたのげ青では、若者を中心とした多世代交流を通してこれからの地域を考えたり、国内外の交流自治体等による若者同士の交流を通してこれからの世界を考えたり、社会体験の機会を通して、若者が活動の輪を広げ、学び、成長できる場につながるよう3月末から宿泊利用を開始します。現在4~6月中の宿泊を受付中です。

宿泊インフォメーション
対象 世田谷区で活動する5人以上の青少年団体/青少年支援団体
利用人数 1回につき40人以内
宿泊日数 1泊または2泊
宿泊料金 無料(シーツ・ガス代のみ実費相当額をお支払いいただけます)
申込方法 電話で施設の空き状況をご確認の上、お申込ください。申込は利用する月の2か月前の最初の日からになります。
受付時間 9:00~20:00(月曜日を除く)
申込先 世田谷区立野毛青少年交流センター
TEL 03-3702-4587 / FAX 03-6809-8739

宿泊利用の手順	
ACTION	LIMIT
予約	口頭・電話で予約する
確認	「宿泊計画書」を提出 持参/FAX/メール/郵送
申込	「野毛センター使用申請書」と「宿泊者名簿」を提出 持参/FAX/メール/郵送
宿泊利用	「同意書」の提出 「野毛センター使用承認書」を持参

2ヶ月前の最初の日から宿泊の7日前まで
予約後の10日以内
宿泊当日の7日前まで
宿泊当日の開始時間は16:00
※対象は高校生以下に限る

施設の詳細については、世田谷区ホームページ www.city.setagaya.lg.jp をご覧ください。